

横 浜

5月28日 (火) 曇り ときどき 雨

- ★ 5月24日から27日まで、5月としては異例の4日間連続の真夏日となった。26日には北海道で最高気温が39.5℃を記録する異常な暑さであった。「この暑さの中での散策は厳しいな」と思っていたら、幸いにも28日は最高気温が28℃程度で、暑さは峠を越えてくれたので助かった。曇りで、ときどき小雨が降るといった変わりやすい天気、時々強い風が吹くので、傘が壊れたり、傘を持ってゆかれそうになるなどして、あちこちで女性の悲鳴が上がっていた。傘がなくても歩ける程度の雨だったので、傘をささないのが正解だったようである。
- ★ 保谷駅9時42分発の元町・中華街行の電車に乗り、西武池袋線、地下鉄副都心線、東横線直通(東横線内は急行)で約70分で横浜駅に到着した。横浜駅の中央通路は大変混雑するが、「きた通路」は閑散としていて歩きやすい。東口を出て国道1号を越えて5分ほどでシーバスの乗り場に着いた。
- ★ シーバスは「横浜駅東口」から「みなとみらい21」「ピア赤レンガ」を經由して「山下公園」まで運航しているが、我々は横浜駅東口から山下公園までの直行便に乗船した。乗船場のある帷子川から2つの橋を潜って海に出た。右手に横浜ランドマークタワー、パシフィコ横浜、横浜コスモワールドの大観覧車、赤レンガ倉庫、大さん橋など横浜の観光名所を見ながら15分ほどで氷川丸が係留されている山下公園に到着した。陸側からこれらの建物群を見る風景はテレビなどでもお馴染みであるが、海上から見るとまた一味違って良いものである。



- ★ 山下公園で下船すると目の前にバラ園があった。それほど広くはないが、それだけにバラが密集して咲いていて見事であった。
- ★ 山下公園から5分ほどで中華街である。平日の昼にもかかわらず人出が多い。外国人も多いし、修学旅行で来た生徒たちも多かった。呼び込みの女性の案内に従って「華福飯店」という店に入った。時間はちょうど12時で、我々が1番乗りであった。この店は時間無制限のオーダー式の食べ放題で税抜き1980円である。皆さん食べる前からファ

イト満々、「北京ダックを思い切り食べたい」「ふかひれスープが飲みたい」などと言いつつ次々と料理を注文した。結局食べた料理は17種類で、75皿であった。

大いに食べ、大いにしゃべり、大いに笑って、皆さん大満足。店を出たのは午後1時45分であった。



- ★ 中華街を出て中村川にかかる谷戸橋を渡り、少し左手に行ってから右折して谷戸坂を登る。大して急な坂には見えなかったが、腹が重いせいか結構きつかった。10分ほどで港の見える丘公園に着いた。展望台からはすぐ目の前の横浜ベイブリッジをはじめ横浜市街が手に取るように見渡すことができる。展望台のすぐ右手にはバラ園があり、山下公園のバラ園に劣らず見事である。公園の一画に平野愛子が歌ってヒットした「港が見える丘」の歌詞を刻んだ碑があり、碑の前でこの歌を歌ってきた。



- ★ 港が見える丘公園は展望台を真ん中に南側がイギリス山地区、北側がフランス山地区と呼ばれている。イギリス山地区にはイギリス総領事官邸であったイギリス館、大佛次郎記念館、ローズガーデンがあり、フランス山地区には旧フランス領事館邸の遺構、煉瓦井戸の遺構、風車などがある。我々は木立に囲まれた気持ちの良いフランス山地区を下り、フランス山と「人形の家」を結ぶフランス橋を通過して山下公園まで下りてきた。

- ★ シーバス乗船場からは山下公園内を岩壁に沿ってみなとみらいへ向けて歩く。午前中に海上から眺めた景色を午後は陸上から眺めるという趣向である。山下公園を出て大栈橋、象の鼻パーク、赤レンガ倉庫、よこはまコスモワールドを見ながらみなとみらい駅に着いたのは午後4時過ぎであった。しばらく来ないうちに横浜も随分変わっているのに驚いた。みなとみらい駅を4時半頃の電車に乗り、保谷駅には6時過ぎに戻ってきた。



山下公園のバラ園で

今回は俳句を詠む風流人が参加していませんでした。

参加者 金児利行、古賀良郎、小島恕雄夫妻、水野聰夫妻、
水野博司、安村長生、臼井静江、梶原松子、中村仁美 以上 11 名

写真と文 小島恕雄